

# About Mitsui E&S Group

## 三井E&Sグループについて

当社グループの経営理念、沿革、2020年度の実績と、  
現在進行中の三井E&Sグループ事業再生計画、中期経営計画の進捗や、  
今後の目指す方向性をCEOの言葉を通してご紹介します。

### Contents

三井E&Sグループ経営理念	03
沿革	04
財務・非財務ハイライト	06
社長メッセージ	08



# Philosophy | 三井E&Sグループ経営理念

当社グループは、当社を取り巻く環境の変化や当社自体の変革などをふまえ、当社の存在意義を再認識し、2020年8月にグループの経営姿勢と行動規準の見直しを行いました。

## 企業理念

社会に人に信頼される ものづくり企業であり続けます

## 経営姿勢

新しい価値の創造を顧客と共に実現します  
健全な財務体質と堅実な利益を追求します  
健康で安全に働ける環境整備を推進します

## 行動規準

シンプルで、ユニークで、実用的な製品やサービスに挑戦していきます

## History

社会課題と向き合い、社会に不可欠な製品を提供し続けてきた100年の歴史

## 原点

時代の  
ニーズを受け、  
旧 三井物産  
造船部として  
誕生

1917年、造船および修繕工場の必要性を痛感した当時の三井物産(株)船舶部長の川村貞次郎は、社長に造船所設置の陳情書を提出します。社会課題解決への熱い思いから三井E&Sグループは始まりました。



川村 貞次郎

1917-

日本の近代化という使命とともに  
創業以来、造船業を牽引

## 日本の近代化への挑戦

誕生以来、日本の造船業のリーディングカンパニーとして歩みます。

1924

日本初となる  
ディーゼルエンジン  
搭載の赤城山丸を建造

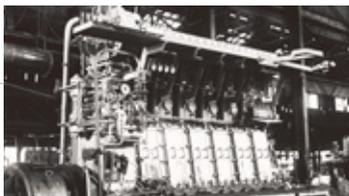


## 船用ディーゼルの技術導入

1926年、デンマークのパーマイスター・アンド・ウェイン社(B&W)と船用ディーゼル機関に関して技術提携。

1928

ディーゼルエンジン  
1号機



1942

社名を三井造船株式会社に改称

1950-

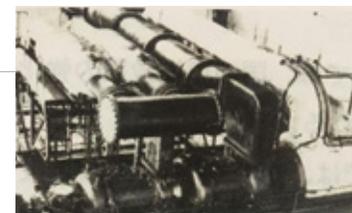
事業領域を拡大  
日本の高度経済成長を支える

## 回転機事業の拡大

ガスタービンの設計から始まり、遠心圧縮機、往復動圧縮機部門へ進出。その後も技術革新を続け、軸流圧縮機や蒸気タービンなども手掛けます。

1950

2000馬力開放型  
船用第1号ガスタービン



## 運搬機業界への進出

1961年、アメリカのパセコ社とコンテナクレーンに関して技術提携契約を締結。コンテナリゼーションの普及とともに国内外に多くの港湾クレーンを納入します。

1967

日本初の埠頭用  
コンテナクレーンが完成



2000-

グローバル化への対応  
持続的成長を目指して

### 省エネ・環境対応技術の強化

環境対応船・省エネ船需要の高まりに応え、次世代の環境対応・低燃費船や、国際的な排ガス規制に対応した船用ディーゼルエンジンなど、環境対応製品を開発します。

2010

環境対応・低燃費型  
バルクキャリア  
「neoシリーズ」



### 三井海洋開発株式会社の上場

2003年7月、三井海洋開発が当グループとして初めて東京証券取引所に上場を果たします。翌年6月1日には、同所市場第一部指定銘柄となり、現在も躍進を続けています。

2004

三井海洋開発(株)が  
一部指定銘柄へ



2018-

三井E&Sグループ始動  
次の100年へ

### 持株会社体制への移行とともに、 社名を「三井E&Sホールディングス」に変更

グループ経営の深化を加速させるために持株会社体制へ移行。合わせて、社名を「三井E&Sホールディングス」に変更し、新生・三井E&Sグループとして新たな一歩を踏み出します。

2018

社名を  
「三井E&Sホールディングス」  
に変更

### ディーゼルエンジンの累計生産、1億馬力を達成

2005年10月(1号機製作から77年4カ月)に累計生産5,000万馬力を達成してから12年8カ月で5,000万馬力を上乗せし、1928年の1号機製作から90年を経て累計生産1億馬力を達成しました。

2018

1億馬力該当機  
三井-MAN B&Wディーゼルエンジン  
「11S90ME-C10.5」

